

授業科目	*成人看護学概論					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	原 賴子、高橋 甲枝						
授業概要	本授業はあらゆる健康レベルの成人期にある人々を対象とする看護に関する導入的科目である。授業では、急性期・慢性期の看護実績を有する実務家教員が経験を踏まえ、成人期にある人々の特徴（ライフサイクルにおける成長・発達）、成人期の人々に関わる保健・医療・福祉における動向、成人期にある人々の環境と健康、看護の特性、及び、看護に活用される理論・モデルについて概説する。						
授業形態	対面授業			授業方法	共同学習、グループワーク		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<p>1. 成人期にある人々の特徴・発達課題・健康段階を述べることができる。(DP1-2)</p> <p>2. 成人期にある人々のおかれている環境が健康に及ぼす影響を述べatetime="2024-01-11T10:00:00" data-bbox="148 148 886 185">能够。(DP1-2)</p> <p>3. 成人期にある人々の健康に関わる保健・医療・福祉システムと継続看護の必要性を述べatetime="2024-01-11T10:00:00" data-bbox="148 185 886 222">能够。(DP1-2)</p> <p>4. 成人期にみられる健康障害の特徴を述べatetime="2024-01-11T10:00:00" data-bbox="148 222 886 259">能够。(DP1-2)</p> <p>5. 健康レベルに対応した看護方法の特徴を述べatetime="2024-01-11T10:00:00" data-bbox="148 259 886 296">能够。(DP2-1) (DP-3-1)</p> <p>6. 成人期にある人々の看護に活用できる関連理論・モデルを述べatetime="2024-01-11T10:00:00" data-bbox="148 296 886 333">能够。(DP1-2) (DP2-1)</p>
	<p>目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について70～70%は説明できる</p>

理想的レベル	目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について70~79%は説明できる。
--------	--------------------------------------

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト	0	
レポート	16%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	4%	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 ○ DP4 - DP5 - ナンパリング NU21316J

學習課題（予習・復習）

- ・成人の定義を調べておく。
- ・成人の発達段階に関する理論を学習する。
- ・課題をもとに各自資料作成の準備を進める。

授業計画

授業計画	
第1回	オリエンテーション テーマ：成人看護学における成人看護学概論の位置づけ

	<ul style="list-style-type: none"> ・成人看護学の対象論 ・成人期の人の特徴（発達段階、生活スタイル、環境） ・ライフサイクルの中での成人の位置づけ (原)
第2回	<p>テーマ：成人期にある人の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康とは、病気とは ・保健・医療・福祉の現状 ・成人期の人の看護の基本的考え方 ・ヘルスプロモーション (原)
第3回	<p>テーマ： 成人期にある人の健康状態に応じた看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題学習 ・課題の解説 (高橋・原)
第4回	<p>テーマ： 成人期にある人の健康状態に応じた看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題学習の発表 (高橋・原)
第5回	<p>テーマ：セルフマネジメントのための教育的支援に活用される理論・モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフケア論、自己効力感、エンパワーメントアプローチ、 ・症状マネジメント ・アドヒアランス／コンプライアンス (原)
第6回	<p>テーマ：成人期看護に活用される理論・モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレス・コーピング・ ・危機理論 ・病みの軌跡 (高橋)
第7回	<p>テーマ：成人期看護に活用される理論・モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフマネジメント ・成人教育理論（アンドラゴジー） ・家族看護などの 理論活用 (高橋)
第8回	<p>テーマ：成人看護を充実させるための実践的環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続看護と専門職連携 ・継続的な移行支援の考え方 ・看護の質向上のための専門職の役割 ・まとめ (原)

テキスト	林 直子、鈴木久美、酒井郁子、梅田 恵：成人看護学概論 改定第4版 南江堂 2023 宮脇郁子、旗持知恵子：成人看護技術 慢性看護 第3版 メジカルフレンド社 2024 岡庭 豊：看護がみえる vol.5 対象の理解 第1版 メディックメディア 2023
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	看護実践に活かす中範囲理論、メジカルフレンド社、2010 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 最新版 その他は必要時に授業の中で提示します
課題に対するフィードバックの方法	課題達成については成績発表後に、評価点分布を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>既修の疫学、健康と栄養、疾病学、発達心理学、生活と環境、看護理論等の知識、成人の健康に関する社会的課題や政策に関する知識が必要になります。</p> <p>この科目は成人看護学の総説です。後期授業「方法論」の基盤となる科目ですから、しっかり身につけて下さい。</p> <p>毎回、授業後には「学びと理解」を確認し、次の授業に繋げていきますので、復習がとても重要となります。</p> <p>成人期にある対象の課題を探求し、看護のあり方について考察を深めて下さい。</p> <p>レポートと試験で評価を行います。試験の内容は授業中に提示します。熱心に授業に参加して下さい。</p>

